確かな投資は未来のささえ

東武証券

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る「重要情報シート」（個別商品編）

1．商品等の内容（当社は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	**グリーン・テクノロジー株式ファンド（為替ヘッジなし）〈愛称：グリーン革命〉**
組成会社（運用会社）	三菱ＵＦＪ国際投信株式会社
販売委託元	三菱ＵＦＪ国際投信株式会社
金融商品の目的・機能	日本を含む世界各国（新興国を含みます。以下同じ。）のグリーン・テクノロジー関連企業の株式等を実質的な主要投資対象とし、主として値上がり益の獲得をめざします。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	本商品は、中長期の資産形成を目的とし、元本割れのリスクを許容する方を想定しております。
パッケージ化の有無	なし
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。
（ご質問の一例）	①あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何か。 ② この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。 ③この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。

2．リスクと運用実績　（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じるリスクの内容	■価格変動リスク 運用資産の市場価格の変動による影響を受けます。 ■特定のテーマに沿った銘柄に投資するリスク 特定のテーマに沿った銘柄に投資するため、市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なる場合があります。 ■為替変動リスク 為替相場の変動による影響を受けます。 ■信用リスク 投資先や取引先などの破綻や債務不履行による影響を受けます。 ■流動性リスク 市場の流動性が低く、想定より不利な価格での取引や取引自体が行えなくなることによる影響を受けます。 ■カントリー・リスク 投資国・地域固有の政情、経済、自然災害などの事情で市場が想定以上に大きく変動することによる影響を受けます。
〔参考〕過去1年間の収益率	-4.7%(2023年11月末現在)
〔参考〕過去５年間の収益率	2022年6月末～2023年11月末における各月末の直近1年間の騰落率の平均、最低、最高値平均 2.6%　最低 -8.8%　（2023年10月）　最高　19.1%　（2023年6月）※５年未満
※損失リスクの内容の詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「投資リスク」、運用実績の詳細は交付目論見書の「投資リスク」「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に記載しています。	
（ご質問の一例）	④上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。 ⑤相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。

3．費用　（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

購入時に支払う費用　（販売手数料など）	お申込み価額(購入申込日の基準価額)に、お申込み口数、手数料率を乗じて得た額となります。手数料率はお申込金額によって下記のように変わります。 お申込金額が１億円未満・・・・3.3%(税抜3.0%) 1億円以上３億円未満・・・・・・1.65%(税抜1.5%) ３億円以上　・・・・・・・・・・・・・0.55%(税抜0.5%)
継続的に支払う費用　（信託報酬など）	信託報酬率　年率1.925%（税抜 年率1.750%） その他費用・手数料等が実費でファンドから支払われます。これらは事前に料率、上限等を表示することはできません。
運用成果に応じた費用　（成功報酬など）	なし

※上記以外に生ずる費用を含めて詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「手続き・手数料等」「ファンドの費用・税金」「ファンドの費用」に記載しています。

（ご質問の一例）	⑥私がこの商品に○○万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。 ⑦費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。

４．換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

償還期限、償還延長、繰上償還等	この商品の償還期限はありません。ただし、繰上償還の場合があります。
換金手数料等	この商品に解約手数料や信託財産留保額は生じません
換金制限、換金申込受付不可日等	市場の閉鎖、海外の銀行の休業日の場合等、換金・解約ができないことがあります。

※詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「手続・手数料等」「お申込メモ」に記載しています。

（ご質問の一例）	⑧私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

５．当社の利益とお客様の利益が反する可能性

当社がお客様にこの商品を販売した場合、当社は、お客様が支払う費用（運用管理費用（信託報酬））のうち、組成会社から年率0.825%（税抜0.75%）の手数料を頂きます。これは、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
当社は、この商品の組成会社等との間で資本関係等の特別の関係はありません。
当社の営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品の販売より高く評価される場合があります。（又は評価されるような場合はありません。）

※ 利益相反の内容とその対処方針については、「お客様本位の業務運営方針」の「3.利益相反の適切な管理」をご参照ください。
（URL）https://www.tobu-sec.jp/rieki_souhan/

（ご質問の一例）	⑨あなたの会社が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていないか。私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっているのか。

６．租税の概要（NISA、つみたてNISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください）

NISA:○　　つみたてNISA:×　　iDeCo:×

※　詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】のP12に記載しています。

７．その他参考情報（契約にあたっては、当社Webサイトに掲載された次の書面をよくご覧ください）

・販売会社（当社）が作成した「契約締結前交付書面」
　※PDF形式で掲載しています。
（URL）https://www.tobu-sec.jp/products/mokuron/
・組成会社が作成した「目論見書」
（URL）https://www.am.mufg.jp/pdf/koumokuromi/254249/254249_20240229.pdf
　※PDF形式で掲載しています。

契約締結に当たっての注意事項等をまとめた「契約締結前交付書面」、金融商品の内容等を記した「目論見書」については、ご希望があれば、紙でお渡しします。

2024年3月